

令和7年12月15日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）公立高校の魅力化・特色化に向けた入学者選抜制度について

公立高校の魅力化・特色化を図る観点から、公立高校の入学者選抜制度において、スポーツ推薦枠の導入や、中学在学中の部活動やクラブチームでの実績を特別に評価できる仕組みの導入などの取組を進めてはどうかと考えるが、教育長の所見を伺う。

（答）

公立高等学校入学者選抜におきましては、各学校の特色や入学者受入方針に応じ、生徒の多様な能力や適性を多面的に評価することが重要であり、各学校・学科等の特色に応じた面接、実技検査等の「学校独自検査」の実施や、「特色枠による選抜」として 学力検査、調査書、自己表現及び学校独自検査の配点の比重などを独自に設定することを可能としているところでございます。

入学者選抜の在り方は、高等学校の在り方に直結する重要な課題でありますが、高校教育を取り巻く状況が、

- ・ 少子化に伴う生徒数の減少、
- ・ 多様化する生徒への対応、
- ・ いわゆる高校無償化の推進

など、大きく変化する中で、公立高校が担うべき役割に応じて、国から示される「高校教育改革に関するグランドデザイン」も踏まえながら、県立高校の配置の適正化と特色化・魅力化を一体的に進めていかなければならない状況にあると考えております。

このため、今後の高等学校の在り方を踏まえ、部活動等も含め、各学校の特色に応じた入学者選抜をより効果的に実施できるよう、現在策定を進めております「今後の県立高等学校の在り方に関する実施計画」に併せて検討してまいりたいと考えております。